

平成30年3月期 第3四半期決算短信(日本基準)(連結)

平成30年1月30日

上場会社名 宝ホールディングス株式会社
 コード番号 2531 URL <http://www.takara.co.jp/>
 代表者 (役職名) 代表取締役社長 (氏名) 柿本 敏男
 問合せ先責任者 (役職名) IR部長 (氏名) 掛見 卓也
 四半期報告書提出予定日 平成30年2月9日
 配当支払開始予定日
 四半期決算補足説明資料作成の有無 : 有
 四半期決算説明会開催の有無 : 無

上場取引所 東

TEL 075-241-5124

(百万円未満切捨て)

1. 平成30年3月期第3四半期の連結業績(平成29年4月1日～平成29年12月31日)

(1) 連結経営成績(累計)

(%表示は、対前年同四半期増減率)

	売上高		営業利益		経常利益		親会社株主に帰属する四半期純利益	
	百万円	%	百万円	%	百万円	%	百万円	%
30年3月期第3四半期	204,266	18.6	13,604	6.8	13,984	4.3	10,396	17.1
29年3月期第3四半期	172,218	1.2	12,741	26.3	13,403	23.4	8,876	35.6

(注) 包括利益 30年3月期第3四半期 14,849百万円 (852.7%) 29年3月期第3四半期 1,558百万円 (66.7%)

	1株当たり四半期純利益	潜在株式調整後1株当たり四半期純利益
	円 銭	円 銭
30年3月期第3四半期	51.74	
29年3月期第3四半期	44.11	

(2) 連結財政状態

	総資産	純資産	自己資本比率
	百万円	百万円	%
30年3月期第3四半期	291,649	175,764	49.6
29年3月期	274,368	165,920	49.2

(参考) 自己資本 30年3月期第3四半期 144,728百万円 29年3月期 135,043百万円

2. 配当の状況

	年間配当金				
	第1四半期末	第2四半期末	第3四半期末	期末	合計
	円 銭	円 銭	円 銭	円 銭	円 銭
29年3月期				13.00	13.00
30年3月期					
30年3月期(予想)				15.00	15.00

(注) 直近に公表されている配当予想からの修正の有無 : 無

3. 平成30年3月期の連結業績予想(平成29年4月1日～平成30年3月31日)

(%表示は、対前期増減率)

	売上高		営業利益		経常利益		親会社株主に帰属する当期純利益		1株当たり当期純利益
	百万円	%	百万円	%	百万円	%	百万円	%	円 銭
通期	270,000	15.3	15,300	12.9	15,800	10.1	10,400	22.6	51.84

(注) 直近に公表されている業績予想からの修正の有無 : 無

注記事項

(1) 当四半期連結累計期間における重要な子会社の異動(連結範囲の変更を伴う特定子会社の異動) : 有

新規 3 社 (社名)	WaferGen Bio-systems, Inc. Rubicon Genomics, Inc. 宝酒造インターナショナル株式会社	、	除外 2 社 (社名)	WaferGen Bio-systems, Inc. Rubicon Genomics, Inc.
-------------	--	---	-------------	--

詳細は、添付資料8ページ「2. 四半期連結財務諸表及び主な注記(3) 四半期連結財務諸表に関する注記事項(当四半期連結累計期間における重要な子会社の異動)」をご覧ください。

(2) 四半期連結財務諸表の作成に特有の会計処理の適用 : 無

(3) 会計方針の変更・会計上の見積りの変更・修正再表示

会計基準等の改正に伴う会計方針の変更	: 無
以外の会計方針の変更	: 無
会計上の見積りの変更	: 無
修正再表示	: 無

(4) 発行済株式数(普通株式)

期末発行済株式数(自己株式を含む)	30年3月期3Q	201,699,743 株	29年3月期	217,699,743 株
期末自己株式数	30年3月期3Q	2,069,154 株	29年3月期	16,475,731 株
期中平均株式数(四半期累計)	30年3月期3Q	200,960,374 株	29年3月期3Q	201,224,286 株

四半期決算短信は四半期レビューの対象外です

業績予想の適切な利用に関する説明、その他特記事項

(将来に関する記述等についてのご注意)

本資料に記載されている業績見通し等の将来に関する記述は、当社が現在入手している情報及び合理的であると判断する一定の前提に基づいており、その達成を当社として約束する趣旨のものではありません。また、実際の業績等は様々な要因により大きく異なる可能性があります。業績予想の前提となる条件及び業績予想のご利用にあたっての注意事項等については、添付資料3ページ「1. 当四半期決算に関する定性的情報(3) 連結業績予想などの将来予測情報に関する説明」をご覧ください。

○添付資料の目次

1. 当四半期決算に関する定性的情報	2
(1) 経営成績に関する説明	2
(2) 財政状態に関する説明	3
(3) 連結業績予想などの将来予測情報に関する説明	3
2. 四半期連結財務諸表及び主な注記	4
(1) 四半期連結貸借対照表	4
(2) 四半期連結損益計算書及び四半期連結包括利益計算書	6
四半期連結損益計算書	
第3四半期連結累計期間	6
四半期連結包括利益計算書	
第3四半期連結累計期間	7
(3) 四半期連結財務諸表に関する注記事項	8
(継続企業の前提に関する注記)	8
(株主資本の金額に著しい変動があった場合の注記)	8
(当四半期連結累計期間における重要な子会社の異動)	8
(セグメント情報)	9

○第3四半期決算短信補足資料

1. 当四半期決算に関する定性的情報

(1) 経営成績に関する説明

当第3四半期連結累計期間におけるわが国経済は、個人消費に力強さが欠けるものの、国内外の底堅い需要を背景に企業収益や雇用環境は改善し、緩やかな回復基調が続いております。

一方、海外においては、米国では景気回復基調が続いておりますが、新興国経済の景気下振れリスクや英国のEU離脱問題、米国の今後の政策の影響など、世界景気は依然として先行きが不透明な状況です。

このような経済状況のもと、当社グループは、当連結会計年度より、長期経営ビジョン「宝グループ・ビジョン2020」の達成に向けた最終ステップとしての「宝グループ中期経営計画2019」をスタートし、海外売上高比率をさらに高めるとともに、国内外で抜け・モレのない商品と競争優位性をもった商品を多数持つことで、他社に勝てる分野を数多く築き上げ、どんな環境変化が起ころうとも収益を大きく伸長させることができるバランスのとれた事業基盤を確立することを目指し、着実な事業活動に努めました。

この結果、当第3四半期連結累計期間の業績は、売上高204,266百万円（前年同期比118.6%）、売上総利益79,779百万円（前年同期比112.6%）、営業利益13,604百万円（前年同期比106.8%）、経常利益13,984百万円（前年同期比104.3%）、親会社株主に帰属する四半期純利益10,396百万円（前年同期比117.1%）となりました。

セグメントの業績は、次の通りであります。

なお、平成29年2月16日開催の当社取締役会において、当社の連結子会社である宝酒造株式会社が、同社の海外事業を会社分割（新設分割）し、平成29年7月3日付で新設した宝酒造インターナショナル株式会社に承継させることを決議したことに伴って報告セグメントの見直しを行った結果、第1四半期連結会計期間より、報告セグメントの区分を変更しており、以下の前年同期比については、前年同期の数値を変更後のセグメント区分に組み替えた数値で比較しております。

[宝酒造]

当第3四半期連結累計期間の売上高は、酒類では、焼酎は減少いたしましたでしたが、清酒や引き続き“タカラ「焼酎ハイボール」”が好調に推移しましたソフトアルコール飲料が増加いたしましたので、酒類全体の売上高は増加いたしました。

調味料は料理清酒の好調により増加し、原料用アルコール等も増加いたしました。

以上の結果、宝酒造の売上高は117,845百万円（前年同期比101.6%）となりました。売上原価は70,038百万円（前年同期比101.9%）となりましたので、売上総利益は47,806百万円（前年同期比101.1%）となりました。販売費及び一般管理費は前年同期並みの41,108百万円（前年同期比100.0%）となりましたので、営業利益は6,698百万円（前年同期比108.4%）となりました。

[宝酒造インターナショナルグループ]

当第3四半期連結累計期間の売上高は、前第3四半期連結会計期間末に連結子会社としましたMutual Trading Co., Inc.（米国）などの売上高が寄与し、海外日本食材卸が増加し、海外酒類でもウイスキーなどが増加しましたので、51,364百万円（前年同期比233.2%）となりました。売上原価は36,170百万円（前年同期比244.4%）となりましたので、売上総利益は15,194百万円（前年同期比210.4%）となりました。販売費及び一般管理費は11,988百万円（前年同期比227.7%）となりましたので、営業利益は3,206百万円（前年同期比164.0%）となりました。

[タカラバイオグループ]

当第3四半期連結累計期間の売上高は、新規連結子会社の寄与に加え、受託サービスが前年同期を大きく上回り、22,646百万円（前年同期比109.7%）となりました。売上原価は売上高の増加により、また新規連結子会社の取得にともなう無形資産償却費の計上もあり、9,879百万円（前年同期比121.9%）となりましたので、売上総利益は12,766百万円（前年同期比101.8%）となりました。販売費及び一般管理費は新規連結子会社の人件費やのれん償却額等の増加により、11,157百万円（前年同期比113.7%）となりましたので、営業利益は、1,608百万円（前年同期比59.0%）となりました。

[その他]

当第3四半期連結累計期間の売上高は、タカラ長運株式会社の株式を売却したことにもない、同社を当第3四半期会計期間首より連結の範囲から除外したことにより、29,090百万円（前年同期比98.2%）となりました。売上原価は24,374百万円（前年同期比97.0%）となりましたので、売上総利益は4,715百万円（前年同期比105.1%）となりました。販売費及び一般管理費は2,599百万円（前年同期比96.4%）となりましたので、営業利益は2,115百万円（前年同期比118.2%）となりました。

品種別販売実績

セグメントの名称	前第3四半期連結累計期間 (自平成28年4月1日 至平成28年12月31日)	当第3四半期連結累計期間 (自平成29年4月1日 至平成29年12月31日)	前年 同期比
品種	金額(百万円)	金額(百万円)	(%)
宝酒造			
焼酎	44,124	42,763	96.9
清酒	18,003	18,302	101.7
ソフトアルコール飲料	23,916	26,447	110.6
その他酒類	5,386	5,133	95.3
酒類計	91,432	92,647	101.3
本みりん	11,591	11,304	97.5
その他調味料	7,334	7,851	107.1
調味料計	18,925	19,156	101.2
原料用アルコール等	5,667	6,041	106.6
計	116,025	117,845	101.6
宝酒造インターナショナルグループ			
海外酒類	6,623	7,424	112.1
海外日本食材卸	15,785	45,231	286.5
その他	—	33	—
グループ内連結消去	△387	△1,324	—
計	22,021	51,364	233.2
タカラバイオグループ	20,645	22,646	109.7
報告セグメント計	158,691	191,856	120.9
その他	29,628	29,090	98.2
セグメント計	188,320	220,946	117.3
事業セグメントに配分していない 収益およびセグメント間取引消去	△16,102	△16,680	—
合計	172,218	204,266	118.6

(注) 販売金額には酒税を含んでおりますが、消費税等は含まれておりません。

(2) 財政状態に関する説明

当第3四半期連結会計期間末における流動資産は177,711百万円となり、前連結会計年度末に比べ3,799百万円増加いたしました。これは主に受取手形及び売掛金が12,640百万円、商品及び製品が3,416百万円、未収入金などの増加により流動資産その他が5,536百万円それぞれ増加し、現金及び預金が15,644百万円、有価証券が2,796百万円それぞれ減少したことによるものであります。

固定資産は113,937百万円となり、前連結会計年度末に比べ13,481百万円増加いたしました。これは主に、無形固定資産が12,326百万円増加したことによるものであります。

この結果、総資産は291,649百万円となり、前連結会計年度末に比べ17,280百万円増加いたしました。

当第3四半期連結会計期間末における流動負債は57,234百万円となり、前連結会計年度末に比べ8,272百万円減少いたしました。これは主に1年内償還予定の社債が10,000百万円、短期借入金が2,818百万円それぞれ減少し、未払酒税が5,293百万円増加したことによるものであります。固定負債は58,649百万円となり、前連結会計年度末に比べ15,708百万円増加いたしました。これは主に社債が15,000百万円増加したことによるものであります。

この結果、負債合計は115,884百万円となり、前連結会計年度末に比べ7,436百万円増加いたしました。

当第3四半期連結会計期間末における純資産合計は175,764百万円となり、前連結会計年度末に比べ9,844百万円増加いたしました。これは主に親会社株主に帰属する四半期純利益10,396百万円によるものであります。なお、当第3四半期連結会計期間に自己株式の取得および消却をおこなっております。

この結果、自己資本比率は49.6%（前連結会計年度末は49.2%）となりました。

(3) 連結業績予想などの将来予測情報に関する説明

当第3四半期累計期間における当社グループの連結業績は、平成29年11月7日に公表した連結業績予想に対して、ほぼ計画通り進捗しており、連結業績予想に変更はありません。

2. 四半期連結財務諸表及び主な注記

(1) 四半期連結貸借対照表

(単位：百万円)

	前連結会計年度 (平成29年3月31日)	当第3四半期連結会計期間 (平成29年12月31日)
資産の部		
流動資産		
現金及び預金	58,073	42,428
受取手形及び売掛金	57,951	70,592
有価証券	13,237	10,441
商品及び製品	35,300	38,716
仕掛品	1,244	1,026
原材料及び貯蔵品	3,306	4,269
その他	5,035	10,571
貸倒引当金	△236	△334
流動資産合計	173,912	177,711
固定資産		
有形固定資産	59,174	56,721
無形固定資産		
のれん	6,626	13,997
その他	3,630	8,584
無形固定資産合計	10,256	22,582
投資その他の資産		
投資有価証券	25,583	29,707
その他	5,533	5,016
貸倒引当金	△90	△89
投資その他の資産合計	31,025	34,633
固定資産合計	100,456	113,937
資産合計	274,368	291,649
負債の部		
流動負債		
支払手形及び買掛金	16,804	17,046
短期借入金	9,206	6,388
1年内償還予定の社債	10,000	—
未払酒税	7,593	12,886
未払費用	5,562	5,965
未払法人税等	2,468	3,111
販売促進引当金	1,899	2,160
その他の引当金	2,552	1,365
その他	9,418	8,309
流動負債合計	65,506	57,234
固定負債		
社債	10,000	25,000
長期借入金	10,996	10,886
退職給付に係る負債	8,961	8,731
長期預り金	5,342	5,322
その他	7,640	8,708
固定負債合計	42,941	58,649
負債合計	108,447	115,884

(単位：百万円)

	前連結会計年度 (平成29年3月31日)	当第3四半期連結会計期間 (平成29年12月31日)
純資産の部		
株主資本		
資本金	13,226	13,226
資本剰余金	1,650	1,801
利益剰余金	119,729	116,938
自己株式	△9,939	△1,367
株主資本合計	124,667	130,599
その他の包括利益累計額		
その他有価証券評価差額金	9,583	12,455
繰延ヘッジ損益	0	198
為替換算調整勘定	1,426	2,089
退職給付に係る調整累計額	△634	△614
その他の包括利益累計額合計	10,375	14,129
非支配株主持分	30,877	31,036
純資産合計	165,920	175,764
負債純資産合計	274,368	291,649

(2) 四半期連結損益計算書及び四半期連結包括利益計算書
 (四半期連結損益計算書)
 (第3四半期連結累計期間)

(単位:百万円)

	前第3四半期連結累計期間 (自平成28年4月1日 至平成28年12月31日)	当第3四半期連結累計期間 (自平成29年4月1日 至平成29年12月31日)
売上高	172,218	204,266
売上原価	101,336	124,486
売上総利益	70,881	79,779
販売費及び一般管理費	58,139	66,175
営業利益	12,741	13,604
営業外収益		
受取配当金	453	497
その他	674	644
営業外収益合計	1,128	1,141
営業外費用		
支払利息	321	463
その他	144	297
営業外費用合計	466	761
経常利益	13,403	13,984
特別利益		
関係会社株式売却益	—	3,312
段階取得に係る差益	864	—
その他	66	174
特別利益合計	931	3,486
特別損失		
固定資産除売却損	108	106
減損損失	199	—
その他	17	0
特別損失合計	325	106
税金等調整前四半期純利益	14,009	17,364
法人税、住民税及び事業税	4,461	5,824
法人税等調整額	△13	342
法人税等合計	4,448	6,167
四半期純利益	9,560	11,197
非支配株主に帰属する四半期純利益	684	800
親会社株主に帰属する四半期純利益	8,876	10,396

(四半期連結包括利益計算書)
(第3四半期連結累計期間)

(単位：百万円)

	前第3四半期連結累計期間 (自 平成28年4月1日 至 平成28年12月31日)	当第3四半期連結累計期間 (自 平成29年4月1日 至 平成29年12月31日)
四半期純利益	9,560	11,197
その他の包括利益		
その他有価証券評価差額金	2,777	2,872
繰延ヘッジ損益	668	201
為替換算調整勘定	△11,449	541
退職給付に係る調整額	0	36
その他の包括利益合計	△8,002	3,651
四半期包括利益	1,558	14,849
(内訳)		
親会社株主に係る四半期包括利益	2,592	14,150
非支配株主に係る四半期包括利益	△1,033	698

(3) 四半期連結財務諸表に関する注記事項

(継続企業の前提に関する注記)

該当事項はありません。

(株主資本の金額に著しい変動があった場合の注記)

(自己株式の取得及び消却)

当社は平成29年11月7日開催の取締役会において、会社法第165条第3項の規定により読み替えて適用される同法第156条の規定に基づき自己株式を取得すること、及び会社法第178条の規定に基づき自己株式の消却を行うことについて決議いたしました。これにより当第3四半期連結累計期間において、次のとおり自己株式の取得及び消却を実施いたしました。

(1) 自己株式の取得

- | | |
|--------------|------------|
| ① 取得対象株式の種類 | 当社普通株式 |
| ② 取得した株式の総数 | 1,592,500株 |
| ③ 株式の取得価額の総額 | 1,999百万円 |

この結果、自己株式が1,999百万円増加しております。

(2) 自己株式の消却

- | | |
|-------------|-------------|
| ① 消却した株式の種類 | 当社普通株式 |
| ② 消却した株式の総数 | 16,000,000株 |
| ③ 消却した株式の総額 | 10,572百万円 |
| ④ 消却実施日 | 平成29年12月29日 |

この結果、資本剰余金が0百万円、利益剰余金が10,572百万円、自己株式が10,572百万円それぞれ減少しております。

(当四半期連結累計期間における重要な子会社の異動)

第1四半期連結会計期間において、タカラバイオ株式会社の子会社であるTakara Bio USA Holdings Inc. がWaferGen Bio-systems, Inc. の株式を取得したことにより、同社ならびに同社の子会社であるWaferGen Biosystems Europe S. a. r. l. 及びWaferGen, Inc. を連結の範囲に含めましたが、第2四半期連結会計期間において、同社及びWaferGen, Inc. は、連結子会社であるTakara Bio USA, Inc. を存続会社とする吸収合併により消滅したため、また、上記の組織再編以降のWaferGen Biosystems Europe S. a. r. l. は、休眠会社となり重要性が乏しいため、連結の範囲から除外しております。なお、このうちWaferGen Bio-systems, Inc. は、当社の特定子会社に該当してございました。

また、第1四半期連結会計期間において、Takara Bio USA Holdings Inc. がRubicon Genomics, Inc. の株式を取得したことにより、同社を特定子会社として連結の範囲に含めましたが、第1四半期連結会計期間において、同社は、連結子会社であるTakara Bio USA, Inc. を存続会社とする吸収合併により消滅したため、連結の範囲から除外しております。

第2四半期連結会計期間において、宝酒造インターナショナル株式会社は新たに設立したため、連結の範囲に含めております。

当第3四半期連結会計期間において、タカラ長運株式会社は保有する同社株式の全てを譲渡したため、連結の範囲から除いております。

(セグメント情報)

I 前第3四半期連結累計期間(自平成28年4月1日 至平成28年12月31日)

1. 報告セグメントごとの売上高及び利益又は損失の金額に関する情報

<変更後の区分方法により作成した前第3四半期連結累計期間の情報を記載>

(単位:百万円)

	報告セグメント				その他 (注) 1	合計	調整額 (注) 2	四半期連結 損益計算書 計上額 (注) 3
	宝酒造	宝酒造イ ンターナ ショナル グループ	タカラバ イオグル ープ	計				
売上高								
外部顧客への売上高	115,990	21,800	20,036	157,827	14,390	172,217	0	172,218
セグメント間の内部 売上高又は振替高	34	221	608	864	15,238	16,102	△16,102	—
計	116,025	22,021	20,645	158,691	29,628	188,320	△16,102	172,218
セグメント利益	6,181	1,955	2,724	10,862	1,789	12,651	89	12,741

- (注) 1. 「その他」の区分は、報告セグメントに含まれない事業セグメントであり、当社の不動産賃貸事業及び国内グループ会社の物流事業等であります。
2. 調整額の内容は以下のとおりであります。
- (1) 外部顧客への売上高は、当社において計上した業務受託収入であります。
- (2) セグメント利益は、セグメント間取引消去△32百万円、事業セグメントに配分していない当社の損益121百万円であります。
3. セグメント利益は、四半期連結損益計算書の営業利益と調整を行っております。
2. 報告セグメントごとの固定資産の減損損失又はのれん等に関する情報
(固定資産に係る重要な減損損失)
「タカラバイオグループ」セグメントにおいて199百万円の減損損失を計上しております。

II 当第3四半期連結累計期間(自平成29年4月1日 至平成29年12月31日)

1. 報告セグメントごとの売上高及び利益又は損失の金額に関する情報

(単位: 百万円)

	報告セグメント				その他 (注) 1	合計	調整額 (注) 2	四半期連結 損益計算書 計上額 (注) 3
	宝酒造	宝酒造イ ンターナ ショナル グループ	タカラバ イオグル ープ	計				
売上高								
外部顧客への売上高	117,566	51,123	22,112	190,803	13,455	204,258	7	204,266
セグメント間の内部 売上高又は振替高	278	241	533	1,053	15,634	16,688	△16,688	—
計	117,845	51,364	22,646	191,856	29,090	220,946	△16,680	204,266
セグメント利益	6,698	3,206	1,608	11,513	2,115	13,629	△25	13,604

- (注) 1. 「その他」の区分は、報告セグメントに含まれない事業セグメントであり、当社の不動産賃貸事業及び国内グループ会社の物流事業等であります。
2. 調整額の内容は以下のとおりであります。
- (1) 外部顧客への売上高は、当社において計上した業務委託収入であります。
- (2) セグメント利益は、セグメント間取引消去60百万円、事業セグメントに配分していない当社の損益△86百万円であります。
3. セグメント利益は、四半期連結損益計算書の営業利益と調整を行っております。

2. 報告セグメントの変更等に関する事項

平成29年2月16日開催の当社取締役会において、当社の連結子会社である宝酒造株式会社が、同社の海外事業を会社分割(新設分割)し、平成29年7月3日付で新設した宝酒造インターナショナル株式会社に承継させることを決議したことに伴って報告セグメントの見直しを行った結果、第1四半期連結会計期間より「宝酒造」「宝酒造インターナショナルグループ」及び「タカラバイオグループ」に報告セグメントを変更しております。

なお、前第3四半期連結累計期間のセグメント情報は、変更後の報告セグメントの区分に基づき作成したものを開示しております。

3. 報告セグメントごとの固定資産の減損損失又はのれん等に関する情報

(のれんの金額の重要な変動)

「タカラバイオグループ」セグメントにおいて、タカラバイオ株式会社の100%子会社であるTakara Bio USA Holdings Inc. がWaferGen Bio-systems, Inc. 及びRubicon Genomics, Inc. の株式を取得したことにより、のれんを計上しております。当該事象によるのれんの増加額は、当第3四半期連結累計期間においては7,713百万円であります。なお、取得原価の配分が完了していないため、暫定的に算定された金額であります。